

議員定数について論議しています

議員団ニュース

日本共産党
厚木市

2013年 1月② 440号

議員団HP <http://jcpatsugi.blog.shinobi.jp/>

厚木市議会では昨年10月、神子雅人議長が、次の事項について検討するよう諮問しました。

- ① 地方自治法改正に伴う検討について（議員定数のあり方）
- ② 通年議会の実施について
- ③ 議会議員選挙の時期について（市長選挙と同時執行できないか）
- ④ 議会基本条例の制定について（必要性並びにその内容）

10月2日に新たな「議会の在り方検討会」を設置しました。

12月18日の検討会では、前回に続いて議員定数について各会派が意見を述べました。各会派の意見を紹介します。

川口仁委員長（公明党） 議員定数について各会派の意見をお出し下さい。

松田則康委員（あつぎみらい） 前回と変わらない（現28人です）。議員だけで偏ってもいけないので、市民から意見を聴くべきだ。厚木市議会がトップを切ったせいもあるのだが、一時期削減がはやった時代があったが、今はあまり削減をやっているようには見えない。その辺の実態も含めて皆さんの意見を幅広く徴収する必要があると思うので、もう少し時間をかけたい。最終的にはこの検討会で結論を出すべきだと思う。釘丸久子委員（日本共産党） 現状のままが良い。議員の定数を考えるときに、議会・議員が行政の内容について市民にしっかり充実した話ができるかが重要。市民から「あんな議会はほしくない」と言われないように、議会・議員がもっと研鑽をつむべきだと思う。

石井恒雄委員（市政クラブ） 現状維持で変わっていない。今の議会ではないのかという見直しをし

今週の活動から



1月は行事が目白押し。5日厚木市合同賀詞交換会、6日消防出初め式、11日地区労旗開き、12日南毛利賀詞交歓会、13日土建旗開き、14日成人式…。出初め式で救助工作車の戸が開いていたので珍しいとばかりに記念撮影。（右）釘丸久子議員（左）栗山香代子議員

議会の在り方検討会

委員長 川口仁（公明党）

副委員長 名切文梨（民主クラブ）

委員 釘丸久子（共産党）

越智一久（あつぎみらい）

松田則康（あつぎみらい）

遠藤浩一（公明党）

松前進（改革あつぎ）

小島一郎（改革あつぎ）

石井恒雄（市政クラブ）

委員外議員（一人会派）

奈良握（市民の党） 井上武（みんな）

内川由喜子（ネット） 泉修（子育て）

ていく必要があると思う。

松前進委員（改革あつぎ） 結論として現状のままでということでもまっています。議会の在り方を見直して、さらに開かれた議会を目指していきたい。

遠藤浩一委員（公明党） 議会の報告会とは別に、議員が市民の声を聴いていく広聴をしていきたい。

名切文梨委員（民主クラブ） 議員の質の向上、是々非々の論議を交わせる議員を目指すべきで、その中で議員定数を減らす。増やすといったことを考えていけばいいと思う、今のところ（定数について）強い意見は持っていない。

（一人会派の委員外議員の意見）

井上武議員（みんなの党） 定数削減すべき。国会において三党合意で議員定数のあり方について議論をして、削減をしていくことが決められている。一概に定数を削減したから即予算削減とはならないが、公務員改革も併せて進めていく必要がある。社会状況を考えていくと地域主権型社会を目指して行くためには、小さな政府をつくっていくが基本線の大前提にあると思う。そのために公務員制度改革と併せて車の両輪である通年議会と一緒に考えていきたい。

内川由喜子議員（神奈川ネット） 現状維持と考える。削減より、いろいろな地域の声を広範囲でつかむために、議員間討議を深めていきたい。

泉修議員（子育て応援） 議員定数を削減すべき。社会情勢などを考えると議員が身を削るべきだ。

奈良握議員（市民の党） 広聴をしっかりとやるのはいい意見だ。感情に流されずに双方の意見をしっかりと伝えながら話し合っていくべきだ。数を少なくすると当選者委員が上がってくる。懐深い議会にしていきたい。現状維持がいいと思うが、議論はしていきたい。（12月検討会は欠席のため、11月検討会の発言）

（再度の意見交換）

松田委員 国や県の議員は多すぎると私も思っている。一人当たりにかかる経費が我々市会議員とは全然違う。しかし、地方議会がいか定数を減らしてきたかは歴史的に考える必要がある。厚木市は市制施行時の人口は5万人だった。その時の議員定数は30人。人口が急増し20万になった時、初めて28人に減らしたんです。他市では全然やっていないときだったので先進だった。議員一人1200万円かかっていたから2400万円の前減になったけれど、それは厚木市の財政では微々たるものかもしれないけれどそれでも削減になった。そういう歴史を踏まえて、今や量ではなく質の向上を図るべきだと思う。

石井委員 議会改革というときに議員定数を減らせとなるが、本当に議会改革とは何か。厚木市議会は数年かけて改革してきた。昔の議会と今の議会では市民が議会に求めるものが変わってきている。その議論をしていくことが議会改革だと思う。

釘丸委員 議会・議会の質向上と併せて、議会の内容をお知らせしていく中で議員の定数を考えていくべき。現在の定数28のままで議員の質をあげていくことが求められている。

川口委員長 次回までに各会派・議員が市民の意見を聴いてきてほしい。次回は2月14日に開催します。

審議は傍聴自由、インターネット中継、録画放映もしています。今後は、各会派・議員が市民から意見を聴取します。みなさんも議員定数について、意見をお寄せ下さい。